

ねじりはちまき

9月 <sup>ながつき</sup>長月 白露 秋分の月になりました。

二百十日は立春から数えて二百十日の9月1日を指します。この頃は稲の開花時にあたり農家にとってはとっても重要な時期になります。二百十日頃は台風が多く発生するため農家の人々は、昔から、この頃を厄日として警戒しました。また、二百十日から十日後の晩稲（おくて）の開花期を二百二十日と呼びやはり台風の被害に用心をしてきました。二百十日、二百二十日が近づくと台風によるための風祭が日本各地で行われます。風祭は『風日待ち、風ごもり』とも呼ばれ、秋の実の祈願をするものです。

奈良県竜田神社の風神祭がもっとも古いとされ他に新潟県の弥彦神社、兵庫県伊和神社の風鎮祭などが代表的な風祭として知られています。風祭は村単位で行われる地域も多く祭りの日は仕事を休んで鎮守などに農家の人が集います。酒などを酌み交わし歌を歌ったりしながら農作物の安全を祈願します。陽気が涼しくなって、そろそろ疲れが出る頃です。お身体ご慈愛下さい。

幸田 常一

\*\*\*\*\*

<会社近況>

現在、本宮市の現場で修繕工事等をお世話になっております。

暑さが続いているので飲み物をたくさん準備し、水分補給をしながら作業を進めているところです。今年は、災害級の暑さに翻弄された夏でした。

秋に向けて、台風や大雨などの災害にも気をつけていきたいものです。

<木の知識シリーズ🌳>

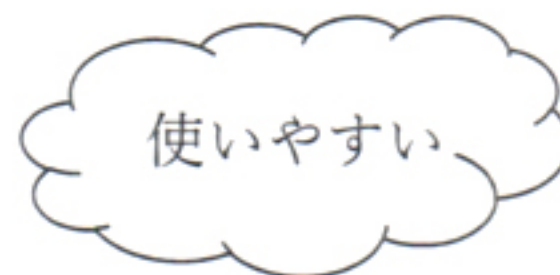
檜葉【ヒバ】という木は、ひのき、杉に続き多用途に用いられる木です。  
木の成分にヒノキチオールというオイルが含まれるそうです。ヒバの独特の芳香成分により枯死しても、芯まで腐らないくらいの耐久性がある優良材だそうです。

\*\*\*\*\*

<商品紹介>オートマージュ(自動水栓)

LIXIL のイチオシ商品乾電池式自動水栓！

自動水栓の大きなメリットは、節水になることや清潔さです。蛇口に触らずに水を出せます。そして、誰にでも使いやすい点です。



\*\*\*\*\*

令和5年9月5日発行

<発行責任者>幸田久美

有限会社 幸田建設

969-1204 本宮市糠沢字八幡 1-1

電話 0243-44-3816

<後記>先日、市の敬老会に行って  
来ました。大勢の観客の前で園児たち  
が一生懸命、歌や踊りを頑張る姿に  
元気をもらいました。

(ほしの)

今回は日本の伝統芸能のうち民謡を取り上げたい。今は酒席で民謡が歌われることはめったにないが、我々が若い頃はまだ歌われることがあったように思う。今は、のど自慢や民謡大会の場面をテレビで見るくらいで、めったにお目にかかることがない。自分も本格的に習ったことはないが、いくらかの曲は覚えたことがある。そういった意味では、馴染みがある分野であり、この機会にいろいろ調べて理解を深めてみたいと思った次第である。

先ず民謡の起源について尋ねたい。不特定多数の民衆によって自由に伝承されているうちに自然と形になった歌だという。口承歌である。不特定多数といっても、特定の地域集団や職業集団に固有の歌謡という側面もある。多くは労働に伴う歌謡という側面がある。そういった意味では、田植え唄、木挽（きびき）唄、大漁唄、馬子唄などが挙げられる。また、盆踊り唄や祝い唄もある。では、それぞれの唄の歌詞にどんな想いが込められているものか見てみたい。紹介する民謡は、紙面の都合で2番までとする。

<佐賀の田植え唄>

①ヤァーレー（サァーヨイヨイ）  
腰の痛さよ この田の長さ  
四月五月の 日の長さ  
（ハァー 植えたよ 植えたよ  
ドッコイ ドッコイ）

②ヤァーレー（サァーヨイヨイ）  
五月田植えに 泣く子が欲しや  
畔に腰かけ 乳飲ませ  
（ハァー 植えたよ 植えたよ  
ドッコイ ドッコイ）

<相馬田植え唄>

①一本植えて 千本と成り揃う（ホー）  
街道の端（はし）の 早生稲  
（ソーレカエシター 繰り返す）

②仙台の 七つの森は（ホー）  
さても見よい 森かな  
（ソーレカエシター 繰り返す）

<原釜大漁祝い唄>

①ソーリア 相馬中村は 原釜浜は  
魚網どころよ（アリアエーエソーリア）  
今日も大漁だね（ハァ大漁 大漁）

②ソーリア 魚網大漁で 万祝いもろた  
今日も大漁（アリアエーエソーリア）  
明日も大漁だね（ハァ大漁 大漁）

<大漁唄い込み> \*宮城

①松島のサーヨー 瑞巖寺の  
（アーソレソレ）  
寺もないトエー  
（アレワエートソーリア大漁だエー）

②前は海 後ろは山で  
（アーソレソレ）  
小松原トエー  
（アレワエートソーリア大漁だエー）

<南部木挽き唄> \*岩手

①ハァー 木挽居たよ  
ハァー あの沢奥にヨー  
ハァー 今朝もヤスリの  
オヤサ ハァー 音がするヨー

②ハァー 何の因果で  
ハァー 木挽に惚れたヨー  
ハァー 木挽き半年  
オヤサ ハァー 山暮らしヨー

<相馬木挽唄>

①ハーコリヤ 山には 住めどヨー  
ハー 木の実や茅の実 コラショ  
ほんに食べやっつてのヨー

②ハーコリヤ 旦那さまより  
コレ おかみさんが かわいいヨー  
ハー今朝のぼた餅 ほんにてんこ盛りヨー

<刈千切唄> \*宮崎

①ここの山の 刈り干や 済んだよ  
明日は 田んぼで 稲刈ろかよ  
もはや 日暮れじゃ 追いかけるよ

②駒よ いぬるぞ 馬草負えよ  
屋根は茅葺 茅壁なれどよ  
昔ながらの 千木を置くよ

<小諸馬子唄> \*長野

①小諸出てみる 浅間の山に  
今朝も煙が 三筋立つ

②あおよ泣くなよ もう家や近い  
森の中から 灯が見える

<秋田馬子唄>

①ハアーあべや(ハイ) この馬(ハイ)  
急げや からけい ハアー西の  
ハアーお山に アリア 日が暮れる

②ハアー辛い ハアーものだよ  
馬喰(ぼくろう)の 夜道  
ハアー後に ハアーくつわの  
アリア 音ばかり

<米節> \*宮城

①米という字を 分析すればヨー  
八十八度(たび)の 手がかかる  
お米ひとつぶ 粗末にならぬヨー  
米はわれらの 親じゃもの

②米のなる木で 作りしわらじヨー  
踏めば小判の あとがつく  
金のなる木が ないとはうそヨー  
辛抱する木に 金なる

<灘の酒造り祝い唄>

心清めて 拍手打って 白の抜けるほど 搦いて搦いておくれ(ハアドッコイドッコイ)  
米が白けりやお酒もうまい あとは親方さんの(ヨ) 腕次第(同上)  
正月門には(ナ) 松が立って(ヨ) 二月初午(ナ) 馬が立つ(同上)

<相馬盆踊り唄>

(ハアヨーイヨーイトナ)  
ハアーヨー 今年は豊年だよ  
(ハアークーリヤコリヤ)  
穂に穂が咲いてヨー(コラシヨ)  
ハアー 道の小草にも  
ヤレサー 米なるヨー

(ハアヨーイヨーイトナ)  
ハアーイヨー そろたそろたヨ  
(ハアークーリヤコリヤ)  
踊り子がそろたよ(コラシヨ)  
ハアー 秋の出穂より  
ヤレサー よくそろたヨー

<会津長持ち唄>

①ハー今日はナー 日も良いヨー  
ハー天気も良いし  
結びナー 合わせてヨー  
ハー縁となるナエー

②ハー蝶よナー 花よとヨー  
ハー育てた娘  
今日はナー 他人のヨー  
ハー手に渡るナエー

以上で終わりとする。福島県のものばかりとはいきませんでした。いかがだったでしょうか。それぞれ味わい深いものですね。これらの唄が三味線や尺八の伴奏がついて歌われると一層趣がでてきます。小生は特に尺八の音色には惹きつけられます。今回はこれで。